

## 成果の説明書

(氏名) 西沢淳男	(学部) 地域政策
<p>1 重要事項</p> <p><b>研究として</b>、前年度から引き続き東京大学史料編纂所に所蔵されている「代官竹垣直道日記」の翻刻作業である。日記は古代・中世史研究においてはよく利用されるものであるが、近世史研究においても近年利用が活発になってきている。日記には公務は勿論、その時代の生活・文化・風俗や各種通達の写しなど多岐にわたっており、史料翻刻は学会の共有財産として広く活用されていくべきものとして、翻刻の掲載と公開をはじめた。日記は文字が難解な上に紙幅の都合で、学内学会機関誌(『地域政策研究』)に嘉永7年1月から6月分(1冊)の翻刻を発表した。</p> <p>古文書講座で輪読中の史料を広く学会のみならず一般に還元利用してもらうべく、国立公文書館所蔵の「御留守居役手控」2を学内学会機関誌(『地域政策研究』)に翻刻公開した。</p> <p>日本歴史学会からの依頼で、『日本歴史』へ齊藤司『江戸周辺と代官支配』(岩田書院)の書評を行った。また、地方史研究協議会からの依頼で『地方史研究』へ71回大会の公演についての参加記を寄稿した。</p> <p><b>地域貢献として</b>、「伊奈町・川口市・つくばみらい市「伊奈氏ゆかりの地」歴史・文化的交流に関する協定」締結を記念した郷土資料館における企画展「伊奈忠治」の指導・助言、企画展関連講座「代官伊奈忠治と赤山陣屋」の講師、『歴史絵本 伊奈忠治』の監修を行った。</p> <p><b>社会貢献として</b>、埼玉県川口市の文化財保護審議会委員及び川口市遺跡調査会理事として、市の文化財保護行政について助言・指導をし、埋蔵文化財調査について指導・監督した。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>論文博士の学位審査を行った。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>同時代期の幕臣(代官)日記の比較検討のため、翻刻成果公開中である「代官竹垣直道日記」と併行して、本学研究助成金により昨年度刊行終了した『飛騨郡代豊田友直在勤日記』全2冊の分析を行い、同時代の親子・友人らの幕臣日記を、並列的に比較・分析し、地方文書からではみえてこない幕臣・江戸時代人の心性を明らかにしていきたい</p>	